

大空に翔ける



令和元年度 日之影中学校だより



1月号

校長

伊東 泰彦

令和 ゆく年・くる

新年号を発表する菅官房長官

2019年は時代の節目となる年でした。平成の31年間が終わり、新元号が『令和』となったのが5月1日。7か月という短い令和元年でしたが、皆さんにとってはどんな年だったのでしょうか？

『令和』には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味を込めたと安倍首相はコメントしています。また、海外向けには、令和を「Beautiful Harmony（美しい調和）」との英訳で紹介されたのもまだ記憶に新しいところです。

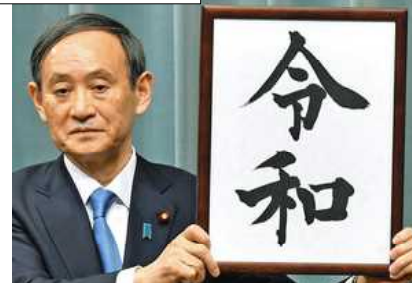
令和の典拠である万葉集「梅花の宴」が詠まれたのもちょうど新春。

『于時 初春^よ令^し月 氣^{なご}淑^{まこと}風^は和^や梅^は披^は鏡^は前^の之^の粉^を 蘭^は薫^は珮^は後^の之^の香^を』

【現代語訳】

時は初春の^よ令^し月であり、空気は美しく、風は^{なご}和^やかで、梅は鏡の前の美人が白粉で装うように^{おしろい}花咲き、蘭は身を飾る衣に纏う香のように薫らせる。

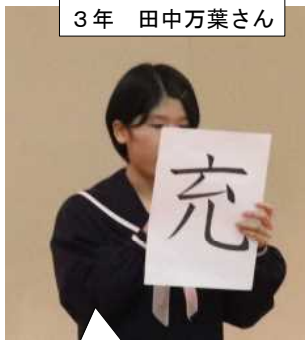
12月12日恒例の今年の漢字も『令』でしたが、本校でも、生徒たちが美しく心を寄せ合う中で、日之影中らしい文化が育っているような気がする令和元年だったと思います。



生徒たちにとっての令和元年は？

※ 終業式で代表生徒に聞いてみました。

3年 田中万葉さん



行事で活躍したり表彰を受けたりと、とても充実していた年でした！

2年 坂本佑月くん



努力を続けることで、部活や勉強面でも成長できた年でした！

2年 津隈蒼侑くん



新生徒会役員になったり新しいスポーツに取り組んだりした年でした！

1年 丹波愛結さん



始めて中学生になり初々しい気持ちで何事にも取り組んだ年でした！

令和2年の抱負は？

※ 始業式で代表生徒に聞いてみました。



三学期始業式での対話による決意表明

3年・雨宮くん 歯を大切にする。高校での勉強と部活を両立させるため、「三点固定（起床時間、就寝時間、勉強時間）」を目指す！

2年・福川さん 元旦の新聞に掲載されていた「地方（田舎）でこそ新しい挑戦が可能」という記事が心に残った。自分も日之影から発信できる人間になれるよう頑張りたい。

2年・甲斐大夢くん 三年の先輩が卒業したら自分たちが最高学年になる。生徒会の専門部長としての仕事をしっかりとやるとともに、当然前のことをしっかりとやれるようにがんばりたい。

1年・岩本くん もうすぐ先輩になる。気配りのできる人間になり、日之影中を盛り上げていきたい。

ヒノカフェの第3弾を地域と協働で行いました

今年度は、義務教育最終学年の中学3年生に対し、地域の社会人や大学生などと協働するワークショップ※「ヒノカフェ」を8月・10月と行ってきましたが、12月26日にはそのフェーズ3として『ひなた場』という対話型ワークショップを行いました。

この取組は、東京に本拠地を置くNPOが行っている「カタリバ」というキャリア教育プログラムを、宮崎の中山間地版に再構築したもので、今回日之影中で初の試みとして行うものでした。町の教育委員会や役場の方をはじめ、県の教育委員会からも10名を超える方が視察に来られましたが、本校の3年生の目の輝きや対話に臨む意識の高さ、そしてゲスト講師として参加して下さった地域の方々の熱意と愛情に賞賛の声を送っていただきました。生徒たちからは「社会人や大学生と対話して視野が広がった」「心が軽くなり、今後の人生が楽しになった」「受験を頑張れそう」などの感想が聞かれました。こうした経験を生かし、ぜひ大空に翔ける人財に育てて欲しいと思います。

※ ワークショップとは、複数人が集まりお互いに影響を受け合いながら何かを生み出そうとする協働のこと

まずは地域人講師の方々の研修実施



子供たちのために頑張るぞ～！



まず最初に班のメンバーでアイスブレイク

次に1名が残って大人や大学生の先輩と対話

残りの2人は日之影の社会人の人生紙芝居を聞く



人生紙芝居① 新宅可奈子さん



人生紙芝居② 高橋一彰さん



人生紙芝居③ 佐藤将仁さん



人生紙芝居④ 抜屋匠さん



【対話をして下さった方々】※敬称略

奈須龍也(佐藤木材)、甲斐優人(農林振興課)、甲斐潤平(教育委員会)、重信誠(地域おこし協力隊)

今泉潤(緑のふるさと協力隊)、羽田野祥子(県キャリア教育支援センター)、桐木千香子(宮崎国際大)

伊東弥輝、濱砂花菜、斉藤舞花(宮崎大学)

終了後の記念撮影



1月25日(土) 10:30~11:00

UMK・のびよみやぎっ子で放映されます

お弁当の日を実施しました！

「弁当の日」とは、2001年に香川県の小学校で竹下和男校長が始めた取組で、子どもが自分でお弁当を作って学校に持ってきてみんなで食べる取組です。子ども自身が何をつくるかを計画し、先生方にアドバイスをもらい、実際に調理して弁当箱に詰めてきます。

この取組は、子どもたちにとって、いつも食事をつくってくれる保護者や給食調理員さんへの感謝の心や自己肯定感が育まれると言われています。宮崎県でも10年前から県教委・スポーツ振興課がその取組みを推奨していますが、本校の場合、宮水小の栄養教諭・河野先生が事前指導をしてくださり、その後は全生徒が作成した弁当計画に河野先生と本校の川田養護教諭がコメントを返してくれて実際の弁当作成を行う…という非常に丁寧なプログラムになっているのが特徴です。おかげで、下のようなすばらしいお弁当ができあがりしました。生徒の皆さんの手づくりのお弁当、すごいですね！（どの学年もあまりにすばらしくてびっくりしました！）

栄養教諭・河野先生
（宮水小）による事前指導



生徒がつくったお弁当（二年生）

会食の様子（三年生）



会食の様子（一年生）



私もこの日は（お弁当ではないのですが）越前風おろし蕎麦を作ってみました【右写真】。福井では400年前（戦国時代）頃から、戦で米がとれない時の備えとしてそばの栽培が奨励されるようになり、そばに滋養豊富な辛味大根をたっぷりかけて食べるのが通例となり、冬の寒い時期でさえ（年越しそばも）おろし蕎麦を食べるそうです。福井に出張に行った際にとても気に入りまして、以来、よく食べてます。



ひのかげの郷

日之影に赴任させていただいたおかげで、この冬はいろんな集落の神楽や祭りにご招待いただき、感謝申し上げます。間近で見る神楽は、舞の躍動感や迫力、神楽面の実に豊かな表情などを体感することができ、感動的な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

と五穀豊穡を祈願し例年十一月から二月にかけて行われますが、集落の神社から神楽宿へ神々をお迎えし、二間四方（八畳）の結界（神庭）の中で、里の人々と神々が一体となつて行う神遊びなのだを教えていただきました。▼神楽を間近に観ながら集落の方々に直接尋ねることで、他にもいろんなことを知ることができました。「神庭の天井の天蓋は、高天原を象徴しているということ」「注連縄に吊るされた七本・五本・三本の縄は、記紀神話の天神七代、地神五代、日向三代を意味しているのだということ」「彫り物の図柄は、自然界の土徳神と木・火・金・水徳神、十二支などであり、陰陽五行の影響がみられているのだということ」「赤と緑の御幣は、赤が天（太陽）、緑が地（山）を表しているということ」等々▼集落によつては本校の中学生たちが奉仕者になっているところもあるのですが、こうした貴重な文化はぜひ次世代にもしっかりと継承されて欲しいと願ったところでした（校長・伊東泰彦）



第49回・日之影町駅伝競走大会の参加予定者

1月26日に開催される町の駅伝競走大会に、中学生の部で3チームが参加予定です。1・2年の部活動生徒が中心ですが、ぜひがんばってください。

■チーム・俊!!!

2年) 坂本佑月、多賀駿介、米田愛夢、松中佑月、
中山樹莉、山口那華

1年) 丹波愛結、坂本渉真、有藤秀吉、

■ドクタースランブ

2年) 高木正翔、田崎美羽、瀧川すみれ、瀧川さくら
佐藤文太、津隈蒼侑、馬崎次夢

1年) 岩本継夢

■Top Speed

2年) 福川陽菜、甲斐汐弥、俵ちあき

1年) 鮫島司、甲斐百華、甲斐千尋、甲斐航惺
梅田龍斗、中村日勇



昨年度の大会の様子

【1・2月の主な行事】

1月

8日…始業式

9・10日…3年実力テスト、1年CRTテスト

13日…市町村駅伝大会

25日…GIAHS中学生サミット

26日…日之影町駅伝大会

28・29日…私立高校入試

2月

4日…給食感謝集会

5日…県立高校推薦入試

7日…参観日、2年立志式

9日…町民のつどい

12~14日…学年末テスト

町社会福祉協議会へ寄付

本校生徒会の回収したペットボトルのふた1年分と歳末助け合いの募金を、12月12日に町の社会福祉協議会へ届けました。



生徒会による寄贈の様子